

『あるって くるぶニュース』は、芸術分野の様々な活動とまちづくり運動を自主的に企画、運営、支援する市民のグループで、非営利組織の、『アルテクラブ』(Arte club)の活動状況のご報告と今後の予定、他の地域で活動しているグループの情報をお知らせするメディアです。ホームページ <http://arteclub.org/> では、カラーでご覧になれます。
 ……こんな活動をしています、ご参加ください……
 どなたでも参加できますが、会員には特典があります。

アルテクラブ ギャラリー

—— 活動のご報告 ——

G.S.カビール展<平面>油彩

4月9、10、11、16、17、18日

カビールさんの技法は、紙に何層もの油彩を施し、上の絵の具が乾かないうちに削り取り、下の色を出すと言う方法です。全体に静かで渋い色調の中に下地の鮮やかな色が現れています。日本の着物地を連想させる色調です。しかしながら、カビールさんのかつての作品の中には、戦争の悲惨さを思わせる作品もあります。カビールさん10歳の時からバングラディッシュ独立戦争が始まったそうなので、長年にわたる戦時下の生活がそれらの作品を生み出したのでしょう。心のどこかが壊れてるような絵です。それに比べると、現在の作品は、静かなシリーズであったり、楽しいシリーズであるのを見ると、日本での生活がカビールさんの心を癒しているのかな〜と感じ、うれしいですね。



小品のコーナーです。



中央がカビールさんです。

—— お知らせ ——

<金子道夫 陶展> 6月3日~8日

ギャラリー一櫛 川越市連雀町 8-1 TEL049-227-1017
 自由な形、鮮やかな色彩をお楽しみに!

——これからのスケジュール——

◆2004年 アルテクラブ企画展

柴田なつき展<陶>

6月11、12、13、18、19、20日

金土日のみ開廊です!

開廊時間 12:00~19:00 ・川越 三番町ギャラリー

★オープニングパーティー 6月10日(木)18:00~

アルテクラブではもうおなじみですが、川越が誇る日本のブラジル音楽の第一人者吉田和雄さんがオープニングに初登場です。

★作家プロフィール

1975 神奈川県生まれ

1998 女子美術大学工芸科陶コース卒業

2000 東京芸術大学大学院美術専攻科修了

2001 朝日陶芸展『ソラノムシ』奨励賞受賞

2002 朝日現代クラフト展

国際陶磁器展美濃

朝日陶芸展『果臚コレクター』秀作賞受賞

2003 『ハナサクマエ』展

伊食堂タボラ・千歳船橋

『果臚コレクター』柴田菜月展

・INAX ガレリア セラミカ新宿

2004 『使えそうで使えないもの』柴田菜月展

・梅が丘ギャラリー

〜〜推薦者より〜〜

(河鍋)

カラフルでポップな落書きタッチのドローイングが描かれているおしゃれで雑貨的な作品…。内臓を果実にみたてた作品が、なぜかグロテスクでなく可愛らしい…。不思議な宇宙感を感じさせる作品達。作者いわく、「異なった視点を持つ矛盾やきちんと言葉にできない曖昧さを大切にしている」という作品づくりが伝わります。

<すべては曖昧なもの> <……のようで……でない>

<可愛いけど、ちょっとこわい>

そんな作品をぜひご覧ください。

(三番町ギャラリー企画展、最年少アーティスト?)

—— 2004 スケジュール ——

9月 堀部宏二展<インスタレーション>

12月 柳田順展<平面・水彩>

—— お知らせ ——

<版画フォーラム 2004 和紙の里ひがしちちぶ展>

東秩父村和紙の里 0493-82-1468

6月2日~13日

銀座展(銀座養清堂画)03-3571-1312

6月21日~26日

活動のご報告

♪ <G.Sカビール展>オープニングコンサート
4月8日 午後6時～

カンツォーネの佐藤重雄さんでした。

*プログラムはアルバムより、オーソレミオ、ヴォラーレ、クアンド・クアンド・クアンド、人知れぬ涙、思い出のサンバ、リンゴ追分、など。

*カンツォーネによくある甘いテノールではなく、男っぽく厚みのある声で、暗さも秘めた、こういうカンツォーネの方が、大人っぽくていいな～。ステキでしたよ～！



♪ <堀部宏二展>オープニングコンサート 9月

立花泰彦・・・ベーシスト。1955年福岡生まれ。高校時代よりプロ活動を始め。ジャズのビッグバンド、ニューハードでの活動後は、主にスタジオワークを続ける。90年代よりライブ活動を再開し、日本はもとよりイタリア、フランスなどに活動の場を広げている。現在リーダーバンド TOY (太田恵資：バイオリン、芳垣安洋：ドラムス)などで活躍。

泉邦宏・・・アルトサクソフォン奏者。気が向けばギターを弾いたり唄ったり。1967年富山生まれの茨城育ち。大学時代にサクスを始める。あらゆる面で過剰なビッグバンド、渋さ知らずで世界各地で演奏。その他藤井郷子オーケストラ、リーダーバンドI.M.Oなどで活躍。二人でのデュオ活動としては、高円寺マチェックでコンスタントにライブを続けてきた。2002年3月CD「うたは誰のものか」をリリース。

“本日のめにゅー”

《 G.S.カビール展 》

2004/04/08

- 和風グリーンサラダ
- 梅ごまポテト
- 里いものごまフライ
- ソーセージのキャベツ巻き
- 桜えびのいかさバーグ
- 鶏肉の梅肉和え
- まぐろのごま油風味
- マカロニチップ
- 黒みつのプリン
- クロレラブレッド

Food Coordinated & Cooked by CHIAKI

○だけのごはん (MAKI Special)

<chiaki table studip ホームページ>

http://www5d.biglobe.ne.jp/~chiaki_t/

千秋さんが主催する“Chiaki Table Studio”のHPです。スタジオで開かれるイベントや教室のご案内などが載っています。美しい写真もご覧になれます。

URL http://www5d.biglobe.ne.jp/~chiaki_t/



♪ しの笛

小野さゆり ～森のコンサート～

日時 6月12日(土)

会場 東京電機大学理工学部(鳩山キャンパス)

野外特設会場

会費 2,000円 連絡先:小野寺さん 0493-35-4506

♪ <柴田菜月展>オープニングコンサート

6月10日(木)午後6時ごろより

柳澤ノブ・vo, gt 加塩人嗣・sax, fl 吉田和雄・drm

アルテクラブではもうおなじみですが、川越が誇る日本のブラジル音楽の第一人者吉田和雄さんがオープニングに初登場です。三番町ギャラリーにもぴたり収まるちょっとかわいらしいドラムをひっさげ、ボサノバ・スタンダードを中心に大人っぽくせまるユニットで柴田菜月個展を盛り上げてくれることでしょう。(加藤)

アルテクラブまち歩き 担当：佐復
栃木県馬頭町＜広重美術館＞～
大田原市＜一空庵:竹工芸の藤沼昇氏の展示館＞
なだらかな丘陵と那珂川が流れる馬頭町、心とからだの
休日です。

5月9日（日）参加者10名

★馬頭町広重美術館（隈研吾氏設計）

中山道広重美術館所蔵 木曾海道六拾九次展開催中
隈研吾氏の設計による建物は、「広重の芸術と伝統を
表現する伝統的で落ち着いた外観」をコンセプト
とし、自然豊かな馬頭町の景観に溶け込むよう、ゆっ
たりとした平屋建てに切妻の大屋根を採用しました。
美術館全体は、地元産の八溝杉による格子（ルーバー）
に包まれ、時間とともに移りゆく光によってさまざま
な表情を見せます。内装にも地元の材を使い、壁は烏
山和紙、床は芦野石でできています。

★小砂焼（こいさごやき）工房

日本最古の砂金の産地と伝えられている馬頭町で生
まれた小砂焼は、黄金の光を放つ砂金を思わせる金
結晶の陶器をはじめ、さまざまな陶器類が9件の窯
元によって製作されており、いずれも幅広い人気を
集めています。今回は藤田陶園にお邪魔しました。

★大田原市内の天ぶら屋さん「天よし」にて昼食

★日本工芸会会員の藤沼昇さんの展示館＜一空庵＞と工
房を藤沼さんご自身が案内して下さいました。『伝統
工芸と伝承工芸の違い』についてお聞きしたお話し
には感服しました。



小砂焼きの登り窯



白河石（芦野石）を使った内部壁面



湯津上村の屋号のかかった町並み



竹工芸の藤沼さんより作品を説明して頂く。

アルテクラブまち歩き

<湧き水探訪 第1回> 担当 浅川

7月8日(木) 荒天の場合は翌9日(金)

川越には昔から多くの湧水があり、そこにはメダカやムサシトヨミ、タナゴなどの魚や、カワナやシジミなどが沢山生息していました。かわごえ環境ネットの自然環境部会では、その湧水の保全と復活をテーマに現状確認などの作業を行って来ましたが、今回アルテクラブに呼びかけがあり1回目は一緒に新河岸川流域歩きを企画しました。

詳細は、別紙のご案内をご覧ください。

京都・こだわりの会より

==京町家のすこさを語る
==木組み・仕口・継ぎ手などの説明
==差し金は便利なもの その利用方法

2004年度 町家をトーク 6月例会

日時京都 2004年6月8日(火) 19時~21時

日時大阪 2004年6月16日(水) 19時~21時

会場京都 キャンパスプラザ京都 2階第1会議室

京都市西洞院通塩小路下る

会場大阪 大阪合同ビル地階第1会議室

大阪市扇町通太融寺信号東へすぐ

語り手 谷口 昇さん

左官もこなせる大工さん

(有)日昇工業代表

京都こだわりの会 無料点検グループ座長

参加 1700円 一般参加可 申し込み要

主催 京都・こだわりの会

京都市上京区相国寺北門前下ノ町 699

TEL 075-211-6012

FAX 075-252-1427

共催 全京都建設協同組合

京都こだわりの会 会報 第23号 2004年6月号が届きました。記事の中より、ご紹介します。

<庭こそ 町家の象徴>

- おきては格子戸で外の世界から閉ざされていても、うなぎの寝床といわれるとおり、奥には庭があった。また、おきてが格子戸でない場合は、高塀で区画されていたり(高塀の場合は、建物と高塀の間に庭があった)、生け垣であったりした。
- 私の家は、二階建ての三軒長屋の一角であるが前庭に松と金木犀が植わっていて生け垣はさざんかであった。中庭の奥にも裏庭があった。奥の間の畳に寝そべてガラス戸(4枚戸)をあけて、縁側越しにポンヤリと庭を眺める。あきない。なぜか庭があるとホッとする。畳の効果であろうし、縁側の感じであろうし、みどりの効果であろう。今、昔のそんな時間はどこへいったのであろうか。
- 北区にお住まいのMさんが、奥行き1.5m左右3mぐらいのせまい庭を、ちゃんとした庭にしたいと植木屋さんと相談されている。そんな話を聞くと、なぜかホッとする。

この他にも、町家に住んでいる人の話を聞く会などが催されています。お問い合わせの上、お出かけ下さい。

□「アルテクラブ」は、市民の自主的な参加によって、様々な芸術活動やまちづくり運動を自ら企画、運営し、町に住むことを楽しみたいと考えている会です。みなさんのご提案をお待ちしています。参加してのご感想も、どしどしお寄せ下さい。また「アルテクラブ」は、薄く、広く、皆様のご支援を受けたいと考えています。年会費 3,000円の会員が一人でも多く参加していただくとうれしいです

* ギャラリー会場担当ボランティアを募集しています!
アートサポーターとして、参加してみませんか?

6月11日(金) 前半12時~4時、後半4時~7時

12日(土) 前半12時~4時、後半4時~7時

13日(日) 前半12時~4時、後半4時~7時

18日(金) 前半12時~4時、後半4時~7時

19日(土) 前半12時~4時、後半4時~7時

20日(日) 前半12時~4時、後半4時~7時

* 前回は、新井さん、小倉さん、高桑さん、植松さん 斉藤さんが担当されました。

* 会場担当者は時間が拘束されます。参加された方にはポイントがつきます。今までの提供作品会員割引20%に加え展示作品もポイント獲得数に応じて最大30%off (例:ポイント獲得数10の方は10%offとなります。)

* 4月8日(木) '03のポイント発表を行います。

高桑さん⑭、新井紀子さん⑫、小倉さん⑩、植松さん⑦ 大島さん⑥、オープニングにいらして下さいね。

* 今年から、アルテクラブ地域マネーを発行し、ポイントの還元方法のバリエーションを増やし、サポート人員の補強をはかることになりました。

ギャラリーサポート: 3アルテ

まち歩きの時の車両提供: 3アルテ

まち歩きリーダー: 5アルテ

(現地調査、資料作りを含む)

発送作業手伝い: 1アルテ

コンサートPAなどの補助: 2アルテ

など、これからも皆さんのご提案をもとに、より良いものにして行きたいと思っています。

<アルテ>通貨が使えるもの(1アルテ=1,000円相当)

アルテクラブ企画展及び所蔵作品の購入、

アルテクラブ主催コンサートチケット、

三番町ギャラリーの使用(作品展、ワークショップ)、

ちあきテーブルスタジオ:お茶(ケーキ付き)1アルテ

他にもアルテ通貨の利用できるお店などの協力を募りたいと考えています。

お時間のとれる方は、事務局まで連絡して下さい。

★アートに満ちた元気な<まち>を共に楽しむことと、まち歩きを通して、都市や建築への考察を深めることを目指す<アルテクラブ>の仲間になりませんか。お待ちしております。

★郵便振替 0016-4-179161

アルテクラブ 年会費 ¥3000

三番町ギャラリー
川越市南通町14-3
-103
Tel 049-226-7735

アルテクラブ事務局
草野建築設計事務所内
川越市南通町14-3-102
Tel 049-227-8176
Fax 049-227-8178

e-mail kusano@arteclub.org
URL <http://arteclub.org/>